自己評価報告書

平成 23 年 4 月 21 日現在

機関番号: 18001

研究種目:基盤研究(C)研究期間:2008~2011課題番号:20560575研究課題名(和文)

沖縄の多様な共有的地域空間資源を生かした親子・高齢者の生活空間づくりの実践的研究研究課題名(英文)

Practical research on living space planning for parents, children and the elderly utilizing various common spatial resource in Okinawa

研究代表者

清水 肇 (SHIMIZU HAJIME) 琉球大学・工学部・准教授 研究者番号:40244280

研究分野:地域計画・生活空間計画

科研費の分科・細目:建築学・都市計画・建築計画

キーワード:沖縄、共有的空間、親子、高齢者、居場所、歴史的環境

1. 研究計画の概要

- (1)沖縄における共有的空間の特性を生活空間の課題から評価する。具体的には、民家的空間を親子や高齢者の地域の居場所として活用する上での評価軸の確立、共有的空間を再現した集合住宅等の空間のコミュニティ形成上の評価を目標とする。
- (2) 地域において多様な共有的地域空間資源を生かすための社会的プロセスの要件を明らかにする。(この目標は実践を行い過程を実証することで達成される)
- (3) 従来の町並み等の保全計画や新規の空間計画における伝統的空間特性の再現を生活空間の価値に沿った視点から評価し、具体的な再構築の方向性を明らかにする。

2. 研究の進捗状況

- (1)沖縄における共有的空間特性に関しては、平成 20 年度において特に戦後から現在までの地域の遊び体験の調査を行い、さらに遊び体験の再体験企画までを実施することができた。これにより、親子の生活空間ととて沖縄の共有的空間がいかなる変遷をたどて沖縄の共有的空間がいかなる変遷をたどってきたかについての整理を行うことができたとともに地域社会が空間づくりに取り組む条件についても実践的に検証を行うことができた。
- (2) 平成 20 年度~22 年度にかけて、学童保育施設の実態調査を行い、子どもの放課後の生活空間として、民家を活用したものから、専用施設内のもの、学校等を転用したもの等を比較し生活空間構成についての理論的整理と改善課題について明らかにすることができた。本調査は平成 23 年度も実践的な形で継続される。

- (3) 平成 20 年度には、高齢者を中心としたサロン的空間の実態を那覇市と名護市を対象として調査を行った。これにより、ゆるやかでプログラムされていない活動、行動の場としてのサロンの成立条件を整理することが出来た。本課題については平成 23 年度に民家活用型の高齢者の居場所空間事例についての研究を継続する。
- (4) 歴史的環境と生活空間の関係については、沖縄の地域空間の歴史的環境の一つの特徴である戦争遺跡の存在を含めたまちづくりについて事例研究を行い、理論面、実態把握を進めることができた。この間、地域の歴史的環境の体験プログラムの構築に取り組む事例に関与することとなり、平成23年度には実践的関与が可能となっている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

特にサロンづくり、学童保育の空間形成、 戦争遺跡と歴史的環境については一定の成 果を得ることが出来た。ただし、研究過程に おいて実践現場から研究の展開をさらに求 められる状況へと進んできており、現状の改 善に直接つながる成果がさらに求められる。

4. 今後の研究の推進方策

親子・高齢者の居場所としての古民家の活用、学童保育の環境整備、歴史的環境の体験条件の構築という課題については、それぞれ関係者、関係機関との連携関係を平成 22 年度までに構築することができている。この関係を活かした実践的研究を平成 23 年度に実施し、とりまとめを行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

「雑誌論文」(計2件)

- ①<u>清水肇</u>・髙橋弘治、沖縄本島南部と八重山 地域における戦争遺跡の実態と保存活用の 課題、日本都市計画学会都市計画論文集、査 読有、45-3、2010 年、pp. 223-228
- ②清水肇・高橋弘治、歴史的環境における「負の遺産」のあり方について、日本都市計画学会都市計画論文集、査読有、44-3、2009年、pp. 835-840

〔学会発表〕(計2件)

- ①<u>清水肇</u>、学童保育施設の空間構成と領域形成 高密度学童保育の多い那覇市、浦添市の 事例分析、日本建築学会大会、2010 年 9 月 10 日、富山大学
- ②清水肇、歴史的環境における「負の遺産」概念の検討 沖縄における戦争遺跡に関する研究 その1、日本建築学会大会、2009年8月29日、東北学院大学

[図書] (計1件)

①室崎生子・小伊藤亜希子・<u>清水</u>肇他、かもがわ出版、子どもが育つ生活空間をつくる、2009 年、pp. 157-183